

主な内容 ページ

虫供養紹介 2
阿久比谷虫供養について、歴史や見どころについて紹介。

まちの話題 6
第3回児童会サミット開催。あぐいふれあい盆踊りの夕べに2,300人が参加した話題など。

最優秀レシピ決定 8
めざせ!ハッピーライフあぐい21の一環で募集した「わが家の健康レシピ」の受賞作品を紹介。

あぐいぶらり旅 15
「暑い暑い」と言いながらのぶらり旅。自然界では秋の準備が進む。“抱き地蔵”に出会い...

広報



阿久比町
マスコットキャラクター
アグッピー

あぐい

a public relations magazine

AGUI

2007年
9月
1日号
毎月1日・15日発行



僕らは暑くても元気いっぱい

8月は日本各地で国内観測史上最高気温を記録するなど猛暑が続きました。それでも子どもたちは元気に夏休みを過ごし、日焼けして真っ黒になりました。(町営プールで撮影)

愛知県指定無形民俗文化財「知多の虫供養行事」

あぐいだにむしくよう

阿久比谷虫供養



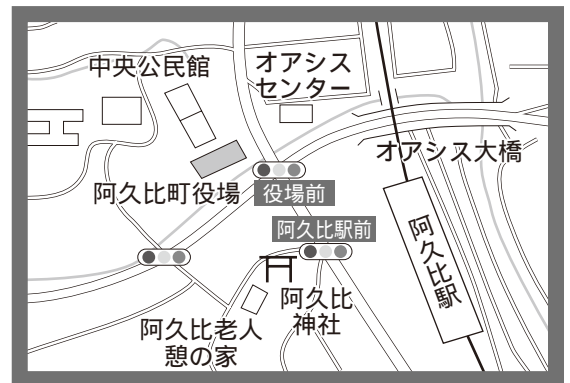
今年の虫供養は阿久比地区で開催されます。

日時 9月23日(日) 秋分の日

午前9時～午後4時

ひゃくまんべんねんぶつ
百万遍念仏は 午後1時～

場所 阿久比神社境内



虫供養会場周辺地図

虫供養は阿久比谷虫供養保存会が所有する『英比谷供養縁起記』によると、知多出身で融通念仏の始祖良忍上人の教えが元になり、米作りや野菜作りで犠牲になった虫を供養するために念仏を行ったことが始まりとされ、平安時代の終わりころから阿久比でも行われるようになった民俗信仰行事です。通称「クヨ」と呼ばれています。

現在、町内13地区の持ち回りで当番を受け持ち、当番になる地区は掛軸や仏具などを寒干しや土用干しをして1年間大切に保管し、9月23日(秋分の日)虫供養本番を迎えます。

歴史

平安時代の終わりころから始まった虫供養は、天正5(1577)年坂部城が織田信長の家臣佐久間信盛の手勢により焼かれると、兵士たちに虫供養の掛軸や仏具などが奪い去られ、治安悪化で中止に追い込まれました。

その後、戦乱が治まった江戸時代に再び行われるようになり、宝暦6(1756)年には行事が永久に継続できるようにと「当番制」と「寄付制」が設けられます。この取り決めは掛軸の修復や仏具の修理や新調など行事を維持していく上で重要な意味を持ちました。





寛政7(1795)年には、虫供養の道具などを紛失した場合には仲間から除外するという厳しい申し合わせがされました。現在でも次の当番地区への受け渡しの際には、目録と道具などを一品一品確認する厳粛な方法が受け継がれています。

明治9(1867)年廃仏毀釈の影響で一時的に中止に追い込まれます。中止して2、3年田畑に害虫が発生し、農作物の不作が続く、悪病が流行しました。各地区から復活を求める声が高まり、再び虫供養が行われるようになり、現在に至っています。

昭和58年には東浦、知多、常滑とともに「知多の虫供養行事」として愛知県無形民俗文化財に指定されました。













何度中断しても力強くよみがえり、今日まで受け継がれた「虫供養」の歩みは阿久比の地に住む私たちの心意気と誇りの象徴です。

～阿久比谷虫供養～

<p>見どころ①</p>  <p>午後1時ころから、大道場で虫供養念仏が始まります。導師の先導で同行衆によって百万遍念仏が唱和され、大数珠が操られます。</p>	<p>見どころ②</p>  <p>供養場には大道場と8つの小屋が設けられ、それぞれに掛軸が飾られます。各小屋ではローソクがともり、“小屋番”と呼ばれる人たちが鉦をたたいています。</p>	<p>見どころ③</p>  <p>会場に立てられた大塔婆<small>おおとうぼ</small>の下の砂山を小さな子どもに素足で踏ませると、「かんの虫封じ」や「健やかに成長できる」と言い伝えられています。</p>	<p>見どころ④</p>  <p>夕方が近づくと次の当番地区への受け渡しが行われます。この受け渡しから虫供養の行事が始まると言われています。</p>
--	---	---	--

掛軸の紹介

虫供養に出掛けたら掛軸に注目してください。十二幅の町指定文化財(昭和五十八年九月指定)の掛軸をはじめ、貴重なものばかりです。掛軸は当番地区で寒干しや土用干しなどを行い、地区の寺などで大切に保管されます。印は町指定文化財です。

<p>☆往古阿弥陀仏</p> 	<p>☆阿弥陀三尊仏</p> 	<p>☆山越阿弥陀仏</p> 	<p>☆十王絵図</p> 
↓			
<p>☆三尊阿弥陀仏</p>  <p>一番小屋</p>	<p>☆阿弥陀如来と二十五菩薩</p>  <p>二番小屋</p>	<p>☆阿弥陀如来と十六羅漢</p>  <p>三番小屋</p>	<p>☆道元禪師</p>  <p>四番小屋</p>
↓			
<p>如意輪観音座図(右) 虫供養白描画軸(左)</p>  <p>八番小屋</p>	<p>☆一枚起請文</p>  <p>七番小屋</p>	<p>☆円光大師</p>  <p>六番小屋</p>	<p>☆普賢菩薩(左) ☆釈迦如来(中央) ☆文殊菩薩(右)</p>  <p>五番小屋</p>

7月29日執行

参議院議員通常選挙 - 阿久比町結果 -

問い合わせ先 阿久比町選挙管理委員会
☎(48)111(内207)

愛知県選挙区

比例代表

投票率 65.16% 当日有権者数 20,159人

所属党派	候補者名	得票数
社会民主党	平山良平	226
自由民主党	鈴木政二	3,323
日本共産党	八田ひろ子	1,363
維新政党・新風	柘植まさじ	43
共生新党	荒川厚太郎	50
民主党	谷岡くにこ	2,695
民主党	大塚耕平	3,187
公明党	山本 保	1,940
無所属	兵藤高志	88
	無 効	221
	投票総数	13,136

投票率 65.15% 当日有権者数 20,159人

所属党派	候補者名	政党得票	候補者得票	合計得票
維新政党・新風		24,000	10,000	34,000
社会民主党		361,000	39,687	400,687
公明党		896,000	518,050	1,414,050
9条ネット		26,000	33,000	59,000
共生新党		9,000	20,000	29,000
日本共産党		851,000	101,200	952,200
国民新党		118,000	138,800	256,800
自由民主党		2,385,000	1,110,890	3,495,890
民主党		4,468,000	1,115,059	5,583,059
新党日本		218,000	115,000	333,000
女性党		95,000	34,312	129,312
	無 効			446,000
	按分切捨			0.002
	投票総数			13,133,000

地震に備えて 家具転倒防止対策を

金具取り付け費用を負担します

町では、地震発生時に家具の転倒による死亡・負傷など事故防止のため、「家具転倒防止金具取り付け」(四点まで)費用を負担する制度を実施しています。

【内容】

対象家屋 対象者が居住する家屋
 取付け部屋など 利用頻度の高い寝室、居間など
 取付け対象家具 洋服ダンス、和ダンス、整理ダンスなど(家電、仏壇を除く)
 取付け家具数 一世帯四点まで
 取付け金具の種類 町が指定するチエーン、固定金具とし、家具および壁などに固定できるものとする

【対象者】
 阿久比町に住所がある方で、次のいずれかに該当する世帯のうち、取り付けを希望する世帯。
 満六十五歳以上の高齢者のみで構成される世帯

身体障害者手帳三級以上の方が属する世帯
 精神障害者保健福祉手帳三級以上の方が属する世帯
 療育手帳B判定以上の方が属する世帯

母子世帯で義務教育就学中または就学以前の子どもが属する世帯(義務教育終了後の子どもがいる場合には対象外とする)
 愛知県特定疾患医療給付を受給している方のうち、重症患者の認定を受けている方が属する世帯
)に準ずる世帯で、障害者手帳などの交付を受けていない世帯で、税法上の特別障害者控除に該当する方が属する世帯

【申し込み・問い合わせ先】
 防災交通課防災係 ☎(48)1111(内208・277)
 十月三十一日までに申し込みをしてください。

少年消防クラブ (BFC) 半田消防署一日入署



放水体験



消防服を試着するクラブ員

防災への意識改革 69

安全で住みよい
まちづくり
ニュース
防災交通課
(内208)

少年消防クラブ(BFC)員が八月八日に半田消防署へ一日入署体験を行い、阿久比町からは各小学校のクラブ員を代表して六年生二十三人が参加して防火や救急への意識を高めました。

少年消防クラブ半田消防署一日入署はクラブ員に、消防業務について関心を深めさせ、防火意識の高揚とクラブ員同士の親睦を図ることを目的に、毎年実施されています。クラブ員が体験した種目は、施設

見学、地震体験・濃煙体験・救急体験・放水体験・規律体験・はしご車の試乗・救助訓練の見学などです。

通信指令室の見学中に実際の救急通報が入り、緊迫した雰囲気も感じることができました。

救助訓練の見学後には、南部小学校卒業のレスキュー隊員との交流もありました。

大変暑い日でしたが、子どもたちは消防署員の話に熱心に耳を傾け、貴重な体験をしました。

少年消防クラブ(BFC)は、少年期から火災予防に関する知識を身に付け、火遊びなどの危険な行為を防止し、火災予防思想の基礎を築くことを目的として発足しました。

全国レベルの組織団体で、阿久比町でもすべての小学五年・六年生がクラブ員になっています。

南部小学校で 防犯少年団設立



少年団員証を交付された南部小児童

南部小学校で「防犯少年団」の任命式が七月三十一日に行われ、五年生の児童十一人に半田警察署長から少年団員証の交付が行われました。

愛知県警が子ども同士の安全と防犯意識向上を図ることを目的に、防犯少年団設立を推進する中で、南部小学校は日ごろの防犯活動の実績が評価され、半田警察署管内のモデル校に選ばれました。

任命式の後、団員らはアピタ阿久比店に出掛け、店頭で防犯を呼び掛けました。

今後は安全マップを作成するなどして、下級生に安全指導などを行っていきます。

～まちの話題～



学校での取り組みを発表する児童

第3回児童会サミット

笑顔あふれる学校を 目指して話し合う

第3回児童会サミットが8月1日、中央公民館本館で開かれました。昨年から「いじめのない学校・明るく楽しい学校にするには」をテーマに2回行われています。今回のテーマは「笑顔あふれる学校にするための取り組み」。町内4小学校の児童会役員23人とオブザーバーとして阿久比中学校の生徒会役員2人が参加しました。

違う学年と交流を深める「ペア活動」や、言葉では言えない自分の気持ちを校内掲示板の「ありがとうの木・ごめんなさいの木」に張り出す取り組みなど、各校からユニークな取り組みが発表されました。

児童たちは各学校から発表された取り組みや意見を参考にして、町内のすべての学校を「笑顔あふれる学校にしていこう」と機運を高めました。



阿高生が水泳訓練にボランティアで参加



8月9日と10日の2日間、町営プールで授産所「もちの木園」の園生15人が、体力維持と水に対する恐怖心をなくすことを目的に水泳訓練を行いました。

阿久比高校水泳部員など22人がボランティアで参加して、水泳訓練の手伝いを行いました。阿久比高校との交流は約20年前から続き、園生と触れ合いながら楽しそうに指導をしていました。

イスラエルから阿久比町にホームステイ



阿久比ライオンズクラブの交換留学生として、イスラエルから阿久比町に滞在（8月3日～9日までの7日間）したモア・ショーラーさん（17歳・高校生）が8月3日、町長を表敬訪問しました。

ショーラーさんは田中清高さん（棕岡）宅でホームステイを行いました。「日本語と日本の文化を勉強したい。おみやげに蛇の目傘を買って帰りたい」と話していました。

セントレアで阿久比をPR



8月1日から5日の5日間、中部国際空港イベントプラザで「知多半島観光物産展『夏まつり』in セントレア2007」が開催されました。8月4日の「阿久比町の日」には、セントレアを訪れた客に、ホテル保護活動の取り組みの紹介や、「アグピーのぬりえコーナー」を設けて親子でぬりえを楽しんでもらい、阿久比米で作った「米粉パン」を配るなど、阿久比町をPRしました。

町老人クラブ「友愛活動」の事例を発表



8月9日、中央公民館本館で宮津山田達者会が「私たちの友愛活動」と題して、日ごろの活動を発表しました。

友愛活動は老人クラブ会員同士がお互いに助け合うことを目的として、一人暮らしなどで困っていることを手助けしています。発表者の福本悟さんは「成果は未知数だが、活動は着実に進んでいる」と結んでいました。

オアシススケッチ



8月16日、役場前駐車場で「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」が阿久比町文化協会の主催で行われ、約2,300人が夏祭りを楽しみました。

浴衣を着た老若男女が阿久比音頭やオアシス音頭などの曲に合わせて、会場に設けられたやぐらの周りを輪になって踊りました。

アトラクションでは公民館教室「日本のまつり」受講生17人が日本各地に伝わる踊りを披露するなど祭りを盛り上げました。

夜になっても気温があまり下がらず、残暑厳しい「夕べ」となりましたが、それでも参加者は踊りに夢中になり、心地よい汗を流していました。

盆踊りを楽しむ参加者

踊りに夢中になりました

=あぐいふれあい盆踊りの夕べ=

夏休みを利用してふるさとを探検



高根湿地を見学する子どもたち

8月7日、小学生23人が「ふるさと探検隊」に参加しました。

子どもたちに知多半島の自然や歴史を知ってもらおうと町教育委員会が企画しました。この日は、貴重な自然環境が残る高根湿地（板山）や新美南吉の童話「ごんぎつね」の舞台となったと言われる権現山（植）などを探検にいきました。

子どもたちは、高根湿地で日本最小のトンボ「ハッチョウトンボ」や「モウセンゴケ」を発見し、説明員から「湿地でしか見られない貴重なものだよ」と話を聞くと、大変驚いていました。

親子ビーチボールバレー大会で熱戦



熱戦を繰り広げる親子

8月18日、親子ビーチボールバレー決勝大会が英比小学校体育館で行われました。

4つの小学校地区で予選を行い、勝ち進んだ12チームがこの日の決勝大会に出場しました。

大熱戦の末、今年の大会は「山田パワーズ」チームが見事優勝に輝き、「夏休みのいい思い出ができて、とてもうれしい」と親子で優勝を喜んでいました。

大会結果は次のとおりです。

優勝 山田パワーズチーム 準優勝 卯ノ山Bチーム
3位 高根台Aチーム・植西チーム

めざせ!ハッピーライフ あぐい21

健康日本21あぐい計画

問い合わせ先 環境衛生課保健係
☎(48)1111 (内 311・312)

皆さんは、毎日野菜を食べていますか。体の調子を整え、免疫力を高めるために野菜は欠かせません。家庭の食卓に、どのような野菜料理が並んでいますか。

「めざせ!ハッピーライフあぐい21」を推進する一環として「野菜を食べよう わが家の健康レシピ」と題し、六月中に野菜を使った健康料理を募集しました。

書類審査を行い、十八作品が最終選考に残り、七月二十日、阿久比町健康づくり食生活改善協議会の協力により、健康日本21あぐい計画推進メンバー十九人が試食をし、投票の結果、受賞作品を決定しました。

最優秀賞 (一般部門・親子部門ごとに各一点)

一般部門

『和風酢ぶた』

鈴木 充世さん
11月4日の健康まつりの試食メニューに採用されます。



親子部門

『ナスポリタン カレー風味』

永田 悠太君(英比小学校6年)
学校給食に採用されます。



受賞作品決定

応募総数百八十五通(一般部門五十五通、親子部門百三十通)

『野菜を食べよう わが家の健康レシピ』

アイデア賞 (全体から一点)

『ベジタブルバーガー』

竹内 比菜さん(南部小学校六年)

ハッピーライフ賞

(一般部門から一点)

『野菜たっぷりとうがん汁』

松井 勇輝君(阿久比中学校二年)

すこやか親子賞

(親子部門から一点)

『夏野菜*パラダイスオムレツ』

新美 龍位君(英比小学校五年)

特別賞

町長賞 (一般部門から一点)

『きんちゃく包みきゃべつのトマトスープ煮』

濱嶋 芳子さん

教育長賞 (親子部門から一点)

『いろいろ野菜とベーコンの蒸し煮』

板野 雄介君(英比小学校五年)

めさせ！ハッピーライフあぐい21

最優秀賞のレシピで料理を作ってみませんか

和風酢ぶた

一般部門

<材料・分量(4人分)>

ジャガイモ2個、タマネギ1個、ニンジン1/2個、ナス1本、五月マメ4本、シイタケ2個、豚肉100g、砂糖適量、しょうゆ適量

調理時間
約20分

作り方

材料を適当な大きさに切る。

切った材料をすべて油で炒め、水、砂糖で煮、しょうゆを入れ煮詰める。(じゃがいもが粉吹きいもの状態になるようにする。)

PRポイント

昔、祖母が煮てくれました。



親子部門

ナスポリタン カレー風味



<材料・分量(4人分)>

ナス3本、トマト2個、ピーマン3個、タマネギ1個、ニンニク少々、とろけるチーズ4枚、ウインナー2本、パン粉適量、カレールウ50g、ワイン30cc、塩少々、コショウ少々、オリーブ油少々

作り方

ナスはへたを取り、ところどころ皮をむき2cmの輪切りにし、半分に分ける。フライパンにオリーブ油を引き、ナスを並べて蒸し焼きにする。

別のフライパンにオリーブ油を引き、ニンニクを入れ、次にタマネギ・ピーマンを加えて炒め、塩・コショウをする。しんなりしたらトマトを加え強火にし、ワインを入れる。2分～3分したらカレールウを加えて煮詰める。

のナスを耐熱容器に入れ、をかける。その上にチーズ、ウインナー、パン粉の順にのせ、オーブントースターで2分～3分焼く。



PRポイント

夏になると家でたくさん取れる、野菜ばかり使いました。ぼくには苦手な野菜ばかりだけれど、これだと全部食べられます。パンやごはんの上のせて焼いても、とてもおいしいです。

調理時間
約20分

Good Lifeは

あなたのチャレンジ精神で

平成19年度第二期

生涯学習教室・講座開講

「いつでも、どこでも、だれでも」を目標に町民の皆さんの生涯学習を支援する教室・講座を開講します。年四回お知らせします。今回はその第三回目です。気軽に応募ください。

親子ふれあい教室・ピザづくり

期 日 十月六日(土)
 時 間 午前九時半～午後零時半
 会 場 中央公民館
 対 象 親子
 定 員 十二組
 受講料など 千四百円
 内 容 親子でピザづくりにチャレンジします。
 講 師 宮本友美
 シニアチャレンジスクール
 再発見・知多半島
 期 間 十一月八日(木)・十六日
 (金)全2回コース
 時 間 午前九時～午後四時(予定)
 会 場 知多半島内
 対 象 シニア(六十歳以上の高



和食あれこれ

和食あれこれ

定 員 二十五人(年齢者)
 受講料など 無料(入場料・昼食代などは実費負担)
 内 容 知多半島の歴史・文化・産業などを見学、体験し、ふるさとを再発見します。
 期 間 十月十日(水)～十一月十日(水) 全六回
 時 間 午後一時～午後三時
 会 場 中央公民館

洋食あれこれ

対 象 一般
 定 員 十八人
 受講料など 六千二百円程度
 内 容 魚のさばき方や和食の一味違う味付けなどを学習します。
 期 間 十一月二十二日(木)～平成二十年二月二十一日(木) 全七回
 時 間 午前十時～午後零時半
 会 場 中央公民館
 対 象 一般
 定 員 二十人
 受講料など 七千九百円
 内 容 家庭で出来る洋食の作り方やコーヒー・紅茶の入れ方を学習します。
 講 師 鬼頭寿夫

米粉でケーキづくり

期 日 十一月二十七日(火)
 時 間 午前九時半～正午
 会 場 中央公民館
 対 象 一般
 定 員 二十四人
 受講料など 五百円程度
 内 容 米粉を使ってシフォンケーキを作ります。
 講 師 農村生活アドバイザー 竹内文江ほか

生涯学習教室・講座

「ゴミを考える」
「ゴミの行方を追跡しよう」

期間 十月四日(木)・十月十一日(木) 全二回
時間 午後一時半～午後四時
会場 衣浦港ほか(施設見学)
対象 一般
定員 二十人
受講料など 無料
内容 毎日の生活で出るゴミについて考えます。
講師 環境衛生課職員

「歴史講座」
「於大の方、その足跡を巡る」

期間 十一月七日(水)・九日(金)全二回コース
時間 午前九時～午後四時(十一月九日は午前十時～)
会場 大樹寺(岡崎市)・安楽寺(蒲都市)ほか
対象 一般
定員 二十五人
受講料など 無料(拝観料・昼食代などは実費負担)
内容 於大の方の足跡を巡りながら楽しく歴史を学びます。
講師 郷土学習同好会(文化協会)・施設職員

楽しいパッチワーク

期間 九月二十五日(火)～十一月十一日(火) 全六回

「パソコン教室」
「年賀状を作ろう」

期間 十一月二十六日(月)・二十八日(水)・三十日(金) 全三回
時間 午前十時～正午
午後一時半～午後三時半
午後七時～午後九時
会場 中央公民館
対象 一般
定員 各十九人
受講料など 七百元
内容 パソコンを使った年賀状づくり

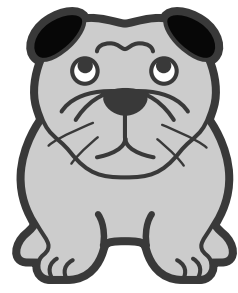
時間 午後一時半～午後三時半
会場 中央公民館
対象 一般
定員 十五人
受講料など 三千円
内容 かわいいチュールリップの小物入れを製作します。



パソコン教室

犬のしつけとマナー

期日 十月十二日(金)
時間 午後二時～午後三時半
会場 中央公民館
対象 一般
定員 三十人
受講料など 無料
内容 犬の飼い方、しつけやマナー、疾病予防について学習します。
講師 愛知県動物保護管理センター 知多支所



文化協会主催 お月見会

期日 九月二十五日(火)
時間 午後六時～午後八時
会場 蓮慶寺
対象 一般
定員 二十人
参加費 無料
内容 中秋の名月を見て、琴の音を聞きながら俳句を作り、秋の夜の情緒を味わいます。

申込資格 町内在住・在勤・在学している方
申込期限 9月12日(水)まで
申込方法 中央公民館本館事務室窓口、電話(平日午前9時～午後5時)FAX・メールで申し込んでください。
定員を超えた場合は初めての方を優先し、抽選により決定します。申し込みが10人未満の場合や講師の都合により変更などもありますのでご了承ください。
問い合わせ先
社会教育課公民館係 ☎(48)1111(内260) FAX(48)6229
メールアドレス shakyo@town.agui.lg.jp



親子ふれあい教室 「消防体験教室」



半田消防署阿久比支署の協力で、8月5日に親子ふれあい教室・消防体験教室を役場前駐車場で開催しました。

暑い中、参加した親子6組15人は消火訓練、レインジャー訓練、ほふく救出訓練の見学、はしご車の試乗などの体験学習をしました。

参加者は「自分自身のことは自分で守る」という消防署職員からの説明を受け、訓練を通じて貴重な体験をしました。

夏休み子ども教室 「おもしろ理科実験教室」



7月23日、中央公民館本館で小学生22人が参加して「おもしろ理科実験教室」を行いました。

町内の小中学校の先生が講師となり、子どもたちは「光で回る風車」と「スーパーボール作り」に取り組みました。

この日は阿久比中学校の理科部12人の生徒もボランティアで参加して教室の手伝いをしました。

学校の授業とは少し違った内容の実験に、子どもたちは大変興味を示していました。

つなげよう 心のホットライン ～対話がつくる家庭のぬくもり～

長い夏休みが終わった9月は、夏休みの不規則な生活による遊び癖や怠け癖から、家出する子どもたちが増加する時期です。

警察では、この時期に駅・繁華街での街頭補導や風俗営業所などへの立入調査などを強力に行い、家出した子どもたちの早期発見に努めています。

家出防止は対話から！

「家にもおもしろくない」「親と話が合わない」「学校が嫌い」といった理由から子どもたちは家出をします。日ごろから次のことに気をつけましょう。

- ・ 子どもが何を考え、どんなことに興味を持っているかをよく観察し、理解するようにしましょう。
- ・ 日常会話から、子どもとのふれあいを増やしましょう。
- ・ 子どもの教育やしつけは、母親任せではなく、父親も一緒に考えましょう。
- ・ 子どもに目標を持たせ、やる気を起こさせましょう。
- ・ 親同士でも連絡を取り合い、子どもの行動を知るようにしましょう。



9月11日は「警察相談の日」です。警察相談は、#9110。

警察の担当者が親身になって相談に乗り、一緒になって問題解決の糸口を探します。内容によっては専門の相談機関を案内します。安心して相談してください。

問い合わせ先 半田警察署 ☎(21)0110

「阿久比子育て10か条」を配布します

10か条目は各家庭で決めてください。

平成17年度から立ち上げた、阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトの活動が今年の4月から本格実施となりました。

幼児教育部会が作成した「阿久比子育て10か条」を、9月に小学3年生以下の園児・児童がいる家庭に配布します。「心とからだが輝くための10か条」と題して、「早寝 早起き 家族そろって朝ご飯」から「家族一緒に 自然とふれあい 元気に遊ぶ」まで9か条定めてあり、10か条目は各家庭で決めて記入できるものになっています。家庭で見やすい場所に張り、子育てに役立てていただければと思います。

～心とからだが輝くための10か条～

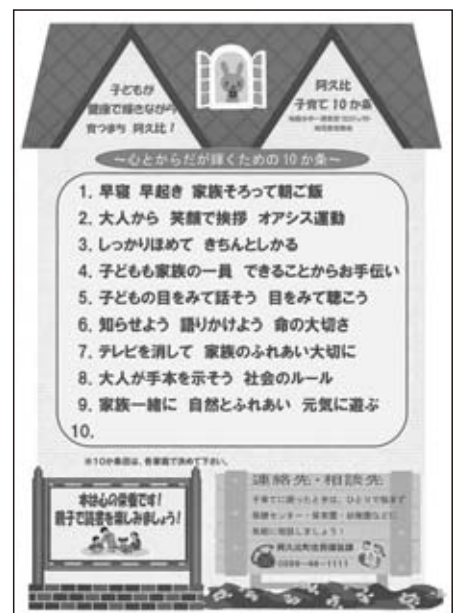
- 1 . 早寝 早起き 家族そろって朝ご飯
- 2 . 大人から 笑顔で挨拶 オアシス運動
- 3 . しっかりほめて きちんとしかる
- 4 . 子どもも家族の一員 できることからお手伝い
- 5 . 子どもの目をみて話そう 目をみて聴こう
- 6 . 知らせよう 語りかけよう 命の大切さ
- 7 . テレビを消して 家族のふれあい大切に
- 8 . 大人が手本を示そう 社会のルール
- 9 . 家族一緒に 自然とふれあい 元気に遊ぶ
- 10 .

各家庭で決めてください。

秋に「親子ふれあい読書キャンペーン」を展開します。幼稚園・保育園、小学校、中学校が同時に各家庭と協力して行います。親子が読書や会話、読み聞かせを通して、ともに過ごす時間をつくり、触れ合いを深めてください。

11月2日に阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトが進めてきた活動の実践発表会を行います。保護者・町民だけでなく、町外の教育関係者にすべての園や学校を公開します。保護者へは各園・学校から詳細をお知らせします。

問い合わせ先 学校教育課 ☎(48)111(内202)



家庭に配布するパンフレット

温暖化から地球を守ろう

私たちができる地球温暖化対策

最近よく耳にする「地球温暖化」とは何でしょう。

地球上で生物が生きやすい状態に温度を保ってくれるのが、大気中にある温室効果ガス。ところが最近、二酸化炭素(CO₂)などが急に増えて温室効果が強くなりすぎ、地球の気温が上がってきています。この現象が「地球温暖化」です。

このまま温暖化が進むと私たちの暮らしはどうなるのでしょうか。

2100年には、地球の平均気温が最大5.8度上がると予測されている。もしもそうなれば、氷河などが溶け出し、海面の上昇による沿岸都市や平野の水没、台風や洪水・干ばつなどの異常気象の多発、農作物の減少、マラリアなどの伝染病の流行可能地域の拡大など、あらゆる被害が発生します。現在、海面上昇によって国土を失いつつある島もあり、日本でも桜の開花日が早まるなどの生物への影響が表れ始めています。

私たちができることは何でしょう。

地球温暖化は、私たちの日常生活に欠かせない電気や石油・石炭などの化石燃料の消費が原因で起こります。

私たちの身近な暮らしや行動が地球温暖化の一因になっていることを、一人ひとりが十分に理解し、家庭での省エネルギーや省資源に配慮した取り組みを行う必要があります。

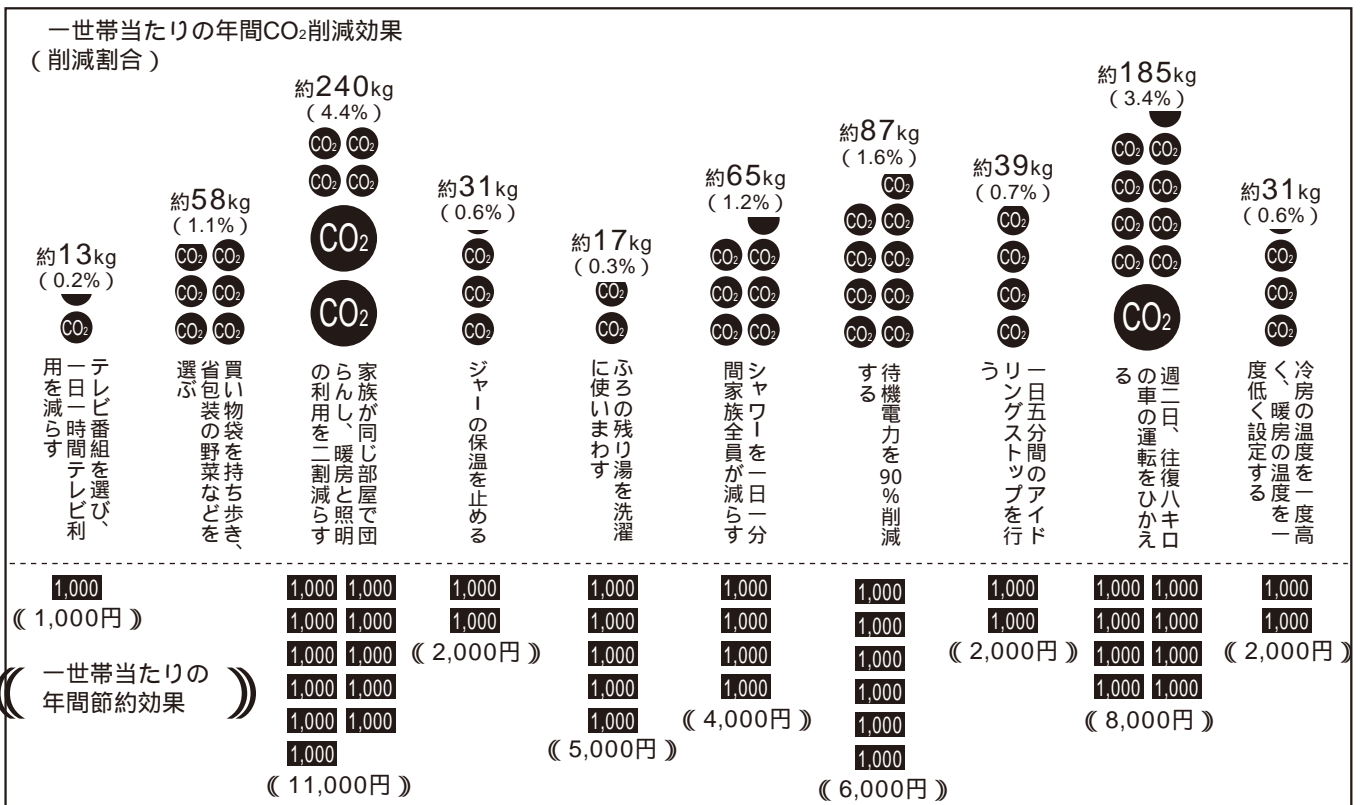
参考文献：『チーム・マイナス6%』ホームページ (http://www.team-6.jp/)

ちょっとした節約で14%CO₂の削減ができます (年間で766キログラム削減)

一世帯当たりの年間CO₂排出量を、5,500キログラム/年として以下の項目

(参考：環境省ホームページ)

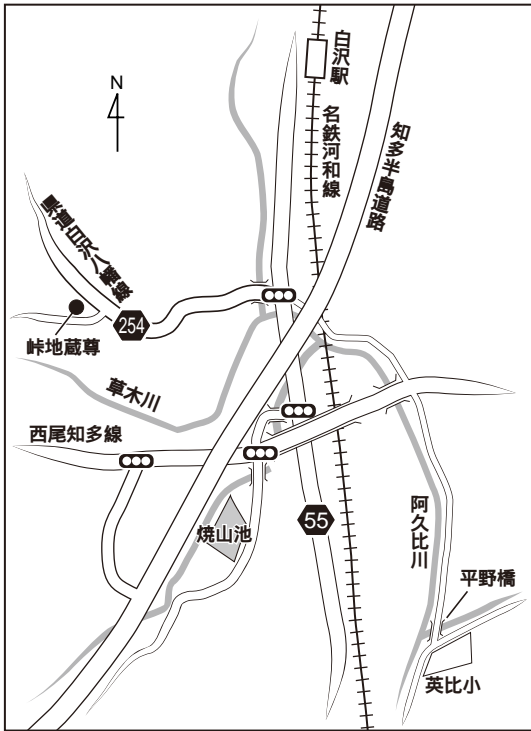
目で14%CO₂削減(2002年比)ができます。



問い合わせ先 環境衛生課 ☎(48)1111 (内317)

シリーズ

阿久比を歩く ⑤9



峠の「抱き地藏」

前回歩いた平野橋から阿久比川沿いを北に向かい、県道白沢八幡線(254号線)をぶらり旅した。日本各地で観測史上最高気温を記録するなど猛暑が続く。「暑いなあ」「この暑さなんとかならないですね」。友人との会話は暑さの話題にしかならない。とにかく暑い。阿久比川には大きなコイたちが気持ちよさそうに泳ぐ。水の中で涼しい顔をするコイがうらやましく思える。

阿久比の道を行く (県道白沢八幡線ほか)



知多半島道路の下をくぐり、県道55号線を横断して県道254号線に入り、西へ向かう。田んぼでは、実り始めた稲穂のガードマン「かかし」の姿が目につく。自分たちを励ます気持ちも込めて「暑い中、こくろうさま」と声を掛ける。

宝安寺に立ち寄り休憩を取る。「暑い」「・・・」。水分補給は十分過ぎるほど取り、腹の中は「チャポチャポ」。境内でセミの声が一匹もしないのがせめてもの救い。流れ落ちる汗をタオルでふく。再び県道に戻る。民家が立ち並ぶ間を道が続く。緩やかな坂道を上っていく。沿道の柿の木には、緑色した実が付く。「稲穂」しかり、「柿の実」しかり、自然界では暑さの中でも、秋の準備が着実に進んでいる。実りの秋が待ち遠しい。

分かれ道の一角にのぼりが立ち、小さな堂の中に地藏がまつられている。地藏のことが気になり、近くの民家で尋ねる。地藏のある場所は昔の峠で、道しるべの役割を果たす。

知多半島道路の下をくぐり、県道55号線を横断して県道254号線に入り、西へ向かう。田んぼでは、実り始めた稲穂のガードマン「かかし」の姿が目につく。自分たちを励ます気持ちも込めて「暑い中、こくろうさま」と声を掛ける。



稲穂のガードマン「かかし」

「右佐布里」「左草木」と刻まれている。地藏を抱いて祈ると、願い事がかなうと伝えられ、今でも地藏を抱く人の姿を見掛けるとのこと。八月と一月の年二回「地藏まつり」が行われ、近くに住む六件の家が順番で世話をし、まつりの日にはお年寄りや子どもが念仏を唱える。「お参りが終わった後に団子やお菓子が配られるから、子どもたちは毎回来しみにしてますよ」と話を聞かせてくれた女性が目を細める。

「君もお地藏さんを抱いて願い事をしてみたら」と友人に勧める。恐る恐る地藏を抱き、目を閉じて何やら祈っている。「何をお願いしたの?」「もちろんあのことです。想像にお任せします」。想像は付くのでそれ以上のことは聞かなかつた。知多市の看板が出てきたので今日のぶらり旅を終えることにした。私たちの周りを赤トンボが飛び交う。暑い中、少し秋が見えた。

みんなの童話

お手玉たちの冒険

カタツ。真夜中、ひろ君のつくえの上の小さなはこがあった。中からとびだしてきたのは、赤、青、緑、黄、オレンジの五つのお手玉だ。ひみつの会合がはじまった。

「最近はお手玉を知らないらしいよ。なんでもゲームが人気なんだってさ。」

「えっ、ほんとうか？」

おどろいた緑玉が聞く。

「うん。ケースから出してもらえないお手玉が、たくさんあるってひろ君が言ってたわ。」

「ぼくたち、よかったな。ひろ君やばあちゃんが毎日あそんでくれるもん。けど、外にいってみたいなあ、ぼくたち、この部屋の中しか知らないもんなあ。」

緑玉が言うと、赤玉が、

「そうね、きょうみある。ひろ君がいつも話してる学校とか」と、目をかがやかせた。

「学校か、それはいいぞ。みんなで、ひろ君の学校へ行こう！」

青玉の一言で、それまでだまって聞いていた、黄色とオレンジも「さんせい」

と、大きな声をあげた。

それから、お手玉たちは、どうやって学校へ行くか、あれこれ考えたすえ、こっそりひろ君のランドセルにしのびこんだ。



「うわっ」

何も知らないひろ君は学校でランドセルを開けて思わず大声をあげた。その声で、友達が何人かひろ君の周りに集まってきた。一人の女の子が、

「あー、かわいいお手玉。私、意外とうまいんだ。かして、かして」と言って、赤とオレンジのお手玉をほつり上げた。すると、

「なんだ、それ。おれにもかせよ」「私もやってみたいーい。ひろ君、どうやるの？」

と、お手玉はけっこうな人気になった。

チャイムが鳴って先生が教室に入ってきた。とそのとき、はなれた所でお手玉であそぶのを見ていた子が、

「先生、ひろ君が不要物をもってきます。」

と言った。おこられる？ひろ君が思ったとき、つくえの上に置かれたお手玉たちがわずかだったが一せいにふるえたように見えた。

「まあ、めずらしい。ひろ君、きょうはどうしたの。じゅ業の前に少しだけ話し合いましょう。」

先生はそう言うと、お手玉を前のつくえにもって行ってしまった。どうしたの、と聞かれたひろ君は困った。なぜお手玉が入っていたかなってひろ君にもわからないけど、

「みんなであそんだら楽しいかなと思ってもってきました。」

と、こたえた。置かれたお手玉の形が、ひろ君には心配そうに肩をよせ合っているように見えた。

「お手玉はだめ」とか、「不要物だ」という意見が出ると、お手玉たちは少しだけたてに長くなったり、「いいんじゃない」「やりたい」という意見が出ると、ほっとしたように横に広がったりした。(お、お手玉やっぱりうごいてる。みんなに気づかれたらどうするんだよ)ひろ君はどきまぎする気持ちをか

くすようにうつむき、きのこのことを思い返した。

きのこの学校から帰ってから、おばあちゃんとお手玉をしたぞ。

けど、ばんご飯の前に、部屋にもって行って、つくえの上のはこに入れたんだ。それからお手玉にはさわっていない……。きつと勝手にランドセルの中に入ったんだ。もしかしておばけお手玉……？いや、おばあちゃんがぼくに作ってくれたとくべつなお手玉だ。早く返して。

ひろ君は、いのるような気持ちでつぶやいていた。話し合いなんか、何一つ耳に入ってこなかった。「……ひろ君、みんなもやりた

いって言ってることだし、またお手玉のあそび方、教えてあげてね」顔を上げると、先生がお手玉をもってつくえの横に立っていた。

よかったー。ぶじ返ってきた。ひろ君はホツとむねをなでおろした。お手玉たちも笑顔でひろ君を見上げていたが、ひろくんは気づかず、あわててお手玉をつくえの中にしまいこんだ。



「なあ、学校って楽しいとこだな」「話し合いはどきどきしたよ」

「ねえ、あしたもしのび込まない？」そのばん、ひろ君はゆめの中でこんな会話を聞いた気がした。

しろやま会員 渡辺 郁巳

お知らせ

印鑑登録証明書の交付には 印鑑登録証が必要です

印鑑登録証明書が必要な場合は、住民福祉課戸籍住民係の窓口に印鑑登録書交付申請書を提出してください。

持参するもの

本人の場合 印鑑登録証（黄色の二つ折りの手帳）

代理人の場合 印鑑登録証（黄色の二つ折りの手帳）

登録印、代理人の認印、委任状は必要ありません。

申請書の記載内容（登録している方の住所、氏名、生年月日、登録番号）に誤りがあるときは、印鑑登録証明書の交付はできませんので注意してください。

印鑑登録証を紛失し、印鑑登録証明書が必要な場合は、紛失届を提出して、再登録が必要です。本人でも公的機関発行の写真付身分証明書がない方や代理人が申請する場合は、即日に登録と証明書交付ができませんのでご了承ください。

問い合わせ先 住民福祉課戸籍住民係 ☎(48)111(内224・225)



印鑑登録証は大切に保管してください

9月9日は、救急の日

救急医療週間 9月9日(日)～9月15日(土)
「救命の主演はあなたです」

自分の大切な人が、目の前で倒れた時のことを考えたことはありますか。そんな時、あなたは何もせず救急車を待つだけでしょうか。

救急車は119番通報から現場に到着するまでに、全国平均で約6分かかります。心臓停止や呼吸停止といった最悪の場合、救急車が到着してからでは遅いのです。大切な命を救うには、「早い119番通報」「早い応急手当」が必要です。それができるのは、その場に居合わせた『あなた』です。

あなたの「愛と勇気」が大切な命を救います。

救急7エアを開催

日時 9月12日(水)午後2時～午後4時(雨天中止)
場所 ユーストア 阿久比店(駐車場内)
内容
(1)心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の取り扱い実技指導
(2)各種応急手当法の実技指導など
問い合わせ先 半田消防署阿久比支署 ☎(47)0119

鶴見 榮 様
阿久比町へ現金百万円をご寄付いただきました。

ご寄付ありがとうございました

http://www.mod.go.jp/pcor/aichi/

ホームページアドレス

☎(21)0004

自衛隊半田募集事務所

問い合わせ先

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
防衛大学校学生	・平成20年4月1日現在18歳以上21歳未満の方 ・高卒者(見込みを含む)	9月5日～9月7日	9月23・24日
		9月7日～9月28日	1次 11月10・11日 2次 12月11日～14日 の指定された日
防衛医科大学校学生	・平成20年4月1日現在18歳以上21歳未満の方 ・高卒者(見込みを含む)	9月7日～9月28日	1次 11月3・4日 2次 12月5日～7日 の指定された日
看護学生	・平成20年4月1日現在18歳以上24歳未満の方 ・高卒者(見込みを含む)	9月7日～9月28日	1次 10月14日 2次 11月17日又は18日
2等陸・海・空士 男子	採用予定月の1日現在、18歳以上27歳未満の男子	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。

自衛官を次のとおり募集します。

自衛官を募集

お知らせ

臨時(パート)職員を募集

勤務場所
阿久比町体験活動・ボランティア活動支援センター(中央公民館社会教育課内)

勤務内容
ボランティアコーディネーター
募集人員 一人

勤務期間
十月一日～三月三十一日

勤務時間
平日の週三日、一日四時間程度
賃金 九百三十円(時間給)

応募資格
年齢五十歳(平成十九年九月一日現在)までの健康でパソコン(ワード)の操作ができる方

試験 面接試験(後日連絡)
提出書類
履歴書(市販のもの・写真添付)

9月定例議会を開催します

平成十九年阿久比町議会第三回定例会を次のとおり開催します。

日時
九月六日(木)午前十時から
問い合わせ先 議会事務局
☎(48)1111(内241)

申込期限 九月十九日(水)
申し込み・問い合わせ先
社会教育課社会教育係
☎(48)1111(内262)

敬老会で長寿を祝います

町では、長年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うために敬老会を開催します。

日時 九月十六日(日)
午後一時半
場所 勤労福祉センター(エスペランス丸山)

対象者 七十歳以上の高齢者(昭和十二年十二月三十一日以前に生まれた方)

敬老会当日は会場周辺の道路の混雑が予想されますので交通安全に十分気を付けてください。

問い合わせ先 保険課介護保険係
☎(48)1111(内228・290)

町営プールに忘れ物をしていませんか

町営プール一般開放の忘れ物がたくさん届けられています。

十月一日(月)まで中央公民館本館の社会教育課で保管していますので、心当たりのある方は取りにきてください。

問い合わせ先
社会教育課 ☎(48)1111
(内線262)

「りんくうの森」植樹祭参加者募集

中部臨空都市空港対岸部(りんくう町)でポット苗約一万本を植樹する「りんくうの森」植樹祭(愛知県企業庁、常滑市、毎日新聞社共催)を開催します。皆さん植樹祭に参加しませんか。

日時 十月十四日(日) 午前八時四十五分(受け付けは午前八時半)

場所 常滑市りんくう町地内(名鉄りんくう常滑駅南0.5km)

参加料 無料

申込方法 往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、郵送してください。(複数記入も可)

申込期限 九月二十五日(火)必着
申し込み・問い合わせ先
〒479 8610(住所記入不要)常滑市計画建築課公園緑化担当 ☎(35)5111(内243)

企業庁工務課臨空グループ
☎052(954)6697

危険物取扱者試験予備講習会を開催

危険物取扱者試験

試験日など

第四回試験

十月十四日(日)
一般対象

乙種第一～六類・丙種
受付期間 九月十日～十九日
第五回試験
十一月四日(日)

高校生対象
乙種第四類・丙種
受付期間 十月一日～十日
試験会場
名古屋市内

試験手数料
乙種 三千四百円
丙種 二千七百円

問い合わせ先
消防試験研究センター
☎052(962)1503

知多中部広域事務組合消防本部防災課 ☎(21)1491

第三回危険物取扱者試験予備講習会

講習日時
十月二日(火)
午前九時半～午後四時半
講習会場
常滑市役所

講習内容
乙種第四類・丙種が対象
受付期間
九月二十八日まで

講習費など
受講料 四千元

テキスト代 二千八百円
申し込み・問い合わせ先
知多中部広域事務組合消防本部防

災課 ☎(21)1491
ホームページアドレス
<http://www.cac.net.ne.jp/chitachu/>

愛知障害者職業能力開発校の訓練生を募集

愛知障害者職業能力開発校は、国の委託により愛知県が運営している障害者の社会参加、自立支援のための施設です。次のとおり平成二十年

区分	訓練科目	訓練期間	募集定員
普通課程	システム設計科	2年	20人
	OA ビジネス科	1年	30人
	CAD 設計科		
短期課程	機械コース	1年	15人
	建築コース	1年	15人
	デザイン科	1年	
	Web コース	1年	20人
	DTP コース	1年	10人
	園芸科	1年	合わせて 40人
	アパレル科	1年	
	彫型工芸科	1年	

募集科目および募集定員

募集期間
 第一回 十月一日～十一月九日
 第二回 平成二十年一月七日～二月十五日
 選考日
 第一回 十一月十八日
 第二回 平成二十年二月二十四日
 応募資格
 普通課程 高校卒業（平成二十年三月卒業見込みを含む）またはこ

れと同等以上の学力を有する障害者短期課程

義務教育終了（平成二十年三月卒業見込みを含む）またはこれと同等以上の学力を有する障害者
 いずれも障害が固定し、訓練と集団生活が可能な方
 申込方法
 入校願書と健康診断書を半田公共職業安定所を経由して提出してください。

入校日 平成二十年四月九日
 受験料、入校料、授業料 無料

訓練に必要な工具は貸し出しします。ただし、教科書代、作業衣代、食費などは実費が必要です。通学が不便な方で、寮規則を守り自立した寮生活のできる方は、寄宿舎に入寮できます。

問い合わせ先 愛知障害者職業能力開発校 ☎0533(93)2102

一人で悩まず相談を

全国一斉子どもの人権110番「強化週間（九月十七日～二十三日）」を実施して、いじめや虐待など子どもの人権に関する悩み事、心配事などの相談に応じます。

相談内容の秘密は固く守ります。一人で悩まず、気軽に相談してください。
 相談日時

九月十七日～二十一日 午前八時半～午後七時
 九月二十二日～二十三日 午前十時～午後五時

相談専用電話番号
 ☎0120(007)1110
 問い合わせ先 名古屋法務局人権擁護部 ☎052(952)8111(内1470)

パーキンソン病および関連疾患患者・家族教室を開催

半田保健所では、パーキンソン病および関連疾患で療養している方がより快適に在宅療養ができるよう、患者の方と家族を対象にした教室を開催します。

日時 九月二十七日 午後二時～午後四時
 場所 半田保健所 四階大会議室（半田市出口町1 45 4）
 内容 講話と実技「自宅のできるリハビリテーション」

講師 老人保健施設希望ヶ丘知多理学療法士 朝倉和雄氏
 申し込み・問い合わせ先 九月二十一日（金）までに電話もしくはFAX（氏名、連絡先、参加人数を記入）で申し込みください。

半田保健所地域保健課地域保健グループ ☎(21)3341
 FAX(24)7142

環境衛生週間に關するポスターを展示します

九月二十四日「清掃の日」から十月一日「浄化槽の日」までの「環境衛生週間」行事の一環として、東部知多衛生組合管内（大府市、豊明市、東浦町、阿久比町）の小学四年生から寄せられたポスター（優秀作品）を次のとおり展示します。

展示場所 東部知多温水プール二階ロビー（大府市大東町2 96）
 展示期間 九月十五日（土）～十月十四日（日）
 問い合わせ先 東部知多クリーンセンター ☎0562(46)8855

オアシスページ（電話帳）を作成

阿久比町商工会青年部では、二年に一度、町内版の電話帳（オアシスページ）を作成し、町内各戸に配布しています。

個人宅の電話番号の掲載を希望されない方は、掲載をしませんので、商工会事務局まで連絡してください。（N.T.T.の電話帳に掲載されていない方の電話番号は掲載を予定していません。）

連絡期限 十月一日
 配布時期 平成二十年二月～三月
 連絡先 阿久比町商工会 ☎(48)7085

河川水位警戒標識を設置しています

町では河川の増水を早期に察知するために、下記の場所に河川水位警戒標識を設置しています。日ごろから、設置個所や平常時の水位などを把握して、もしもの時に備えてください。



設置個所

- ①草木川 昭和橋下流右岸
- ②阿久比川 白沢橋上流右岸
- ③福山川 福住新橋下流左岸
- ④西谷川 神田橋下流右岸
- ⑤殿越川 卯之宮橋上流左岸
- ⑥蟹田川 野添橋下流左岸
- ⑦阿久比川 宮津橋上流右岸
- ⑧前田川 梶明橋下流右岸
- ⑨英比川 檜橋下流左岸
- ⑩十ヶ川 矢勝川除塵機上流右岸
- ⑪阿久比川 坂部橋下(愛知県設置)
- ⑫矢勝川 岩滑西橋上流右岸
(半田市設置)
- ⑬矢勝川 高田橋上流右岸
(半田市設置)
- ⑭矢勝川 矢勝川除塵機南右岸
(半田市設置)

問い合わせ先 建設課
☎(48)111(内282)

阿久比町
マスコットキャラクター



阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
 ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
 歴史と伝統を守り、教養を高めます。
 スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
 オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
 ボランティア活動に、すすんで参加します。



人口と世帯



世帯数 8,276 (4) 7月中の異動
 人口 25,002人(9) 出生 17 転入 67
 男 12,392人(1) 死亡 16 転出 77
 女 12,610人(10)

()は前月との増減数 平成19年8月1日現在



発行 / 阿久比町(〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50 ☎0569-48-1111)編集 / 総務部企画財政課

阿久比町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp>
 資源を大切に!この用紙は再生紙(古紙100%)を使用しています。

広報あぐいを声の広報ボランティア「あいうえお」がCD録音しています。ぜひご利用ください。

問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター ☎(48)1111